

日本医師事務作業補助者協会  
第2回ひろしま実務者のためのセミナー 報告書

【テーマ】：医学知識「知識を深めて、実務につながる力を現場で発揮しよう！」

【日時】：2024年12月15日（日） 13時15分～16時00分

【方式】：オンライン会議システム Zoom 使用

【参加者】：63名

講演①

「心エコーの所見用紙で伝えたいこと」

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 臨床検査部 生熊 誠子 先生

講演②

「コミュニケーションに悩まなくなる『行動コミュニケーション学』ってなあに？～各タイプの言葉の違いを知ろう～」

COLO カレッジ主宰 行動コミュニケーション学プログラム開発・トレーナー

三木 陽子 先生

2024年12月15日オンラインにて第2回ひろしま実務者のためのセミナーを開催しました。はじめに、日本医師事務作業補助者協会理事長 矢口様よりご挨拶をいただき開会となりました。

生熊先生よりご講演いただいた「心エコーの所見用紙で伝えたいこと」について、普段医師や臨床検査技師の方が心エコーの所見用紙をみられる機会が多い中で、心エコーの撮影での異常所見の有無や心機能の評価について1つ1つ丁寧に説明をしていただきました。心エコーの所見について苦手意識を持っている方も多かったと思いますが、生熊先生のわかりやすい丁寧な説明によって解消されたかと思えます。

次に三木先生より前回の講演でもコミュニケーション行動学をご講演いただきましたが、職場や日常生活でのコミュニケーションに活かせるお話でした。今回はその続きの第2回目ということで、指組や腕組の仕方での自分のタイプを知ることにより、さらに勇、義、誠、礼の各タイプごとの言葉の違いを説明していただきました。各タイプの言葉の違いにより、自分や相手の思い方や感じ方を理解できたと思えます。

今回のセミナーでは全国から63名にご参加いただき、盛会に終了いたしました。参加者の皆様より質疑応答をいただき、生熊先生と三木先生の講演で得た知識を今後の業務で活かすことができる貴重な機会でした。広島県支部では今後も実務者のスキルアップに繋がるような内容を企画し、定期的に地方会・セミナーを開催するよう努めて参ります。

報告者：荒木脳神経外科病院 中島 真琴（広島県支部世話人）